



毎月十五日発行 社会 大像 宗像 電話 0940-62-1311代 電話 0940-62-1311代 http://www.munakata-taisha.or.jp/ 定価 一年送料共 1000円

神具・装束 株式会社 井筒 福岡市博多区東公園二二二(〒812-0045) 電話 福岡(094)519456(2番) 東京都下京区油小路六条北(〒100-8231) 電話 東京(03)34113411(1番) 三四三三三三四一

木組の家 匠の技 総合建設業 株式会社 弘江組 事務所 〒816 福岡県宗像市大橋元一〇二五 電話 (094) 〇三二二二五七

馬場 幸一(日)里中丞 中橋 瑞美(日)里中丞 井上 徹(福岡東中丞) 永田 涼子(福岡東中丞) 山下 竜也(城山中丞) 松尾 正太(城山中丞) 荒井 博人 (安海中丞) 植村 朗仁 (安海中丞) 福田 弘明 (自由中丞) 手嶋 瞳 (自由中丞) 紙面の状況により、米月号より新奨学生を便り紹介致します。

「良妻賢母」(専業主婦) 「男同権」というスローガンの下に、社会的・文化的性差に対する偏見や先入観につながるという理由だ。しかし、近い将来家庭を持ち、我が国を背負う子供達を育てる、大切な役割を担う世代が学ぶ「高校家庭科」の教育現場が、このようなことで良いのだろうか。子育ては、父母同様積極的に取り組むべきかと思ふが、それぞれの役割は自ずから違ってくるのは当たり前の事である。それを、「女性」「母性」「三つ子の魂百まで」という三歳児神話(母性神話)をも否定する教育内容の方が不自然である。 昨今、「歴史教科書」が問題になっているが、直接子育てに関わる家庭科教育についても、我が国の家族制度や衣食住等の伝統文化の長所を失わないように、配慮がなくてはならない。 「社会的権利」としての「男女平等」を制度の中に取り入れたつ、男女の補完的な役割を重視する事が、日本の家庭・社会の安定をもたらすはずである。 我が国の伝統文化を踏まえ、近代社会の長所を補完併存させた家庭科教科書を、一人の父親として「子供の日に」に青空の中を力強く泳ぐ、鯉のぼりを見上げながら強く望む。

昭和祭齋行

昭和天皇の御聖徳を偲び



激動の昭和を国民と共に歩まれ、苦楽を共にされた昭和天皇の御聖徳を偲び、御聖業を称える昭和祭が、四月十九日、本殿で厳粛に執り行われた。 午前十一時、太田宮司以下神職、参列者が齋前に並び、一鼓の後参進、祓告にて修祓の儀を行い、拝殿へと進み祭典開始。 太田宮司の昭和天皇の御聖徳を讃え、皇室の弥栄と国家・国民の安泰を祈念する祝詞に次いで、皇紀二千六百年奉祝の記念に制定された「浦安の舞」が、巫女により奏された。「天地の神に祈る朝風の如くに波立たぬ世を」



四月十九日昭和祭で賑わう本殿で、平成十四年度 宗像大社奨学金・宗像大社 荒井奨学金新受給生の奉告 祭が厳行された。 当大社の奨学金制度は、昭和三十四年十一月十日 今上陛下の御成婚を記念し、

「端午の節句」の五月五日、恒例の五月・浜宮祭が、宗像郡玄海町江口の五月宮、同町神湊の浜宮で厳行された。 今年のボルドーグワイクは雨天続きで、当日の天候が心配されたが、祭典中は雨にあうことなく厳行された。五月・浜宮祭で雨が降ったと記憶するのは古参の時折吹く潮風が爽やかであ



めて御 神徳を 痛感し 午前 十時三十分より 浜宮 祭を齋 行。浜宮に 宮には 社殿は はなく 石祠、 御神前 に神饌 をお供 えし、 平安時代の 文獻による と、この 祭典は秋の 放生会(ほうしよう会)とともに五月会(さつき会)として 当大社で 一大神事で あった。往時は宗像三宮に總攝宮(玄海町鐘

この神楽歌から「万代に世界の平和の基を築かむ」と祈念された昭和天皇の大御心が拝されるが、このように昭和天皇は常に国民の上に思いを馳せられ、国民の幸福と繁栄を希求遊ばされた。 大東亜戦争終結後、「国がらをたたく守らんとはいはら道すすみゆくともいなく」とめけり」とお詠みになれ、当時の現状を憂えられた。有史以来連綿と受け継がれてきた我が国の国体、それを護持するために、たとえこの先どんな道が待ち受けてあろうとも戦を止めたいと、我が国として国民のことをたたくすに案じ

このように昭和天皇の宏大なる御仁慈と、深き御聖恩により戦争終結がなされ、また戦後の復興もなされられた。 昭和天皇誕生の日は崩御の後「みどりの日」という祝日に変わり、「自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐく

像市・郡内各中学校を卒業し、進学した第一期生に支給されて以来、今年度で四十三期となり、延べ七百人を数える。 当日は午前十一時からの昭和祭に新奨学生と父兄が参列し、代表者が玉串を捧げ全員で拝した。昭和祭終了後初めて拝殿(巨殿)に奉告を齋行。宗像大社に立派な社会人となるよう勉学に勤しむことを誓った。 祭典終了後は清明殿で、選定書と第一回目の奨学金授与が行われ、まず太田宮司より「宗像大社奨学金」の選定書と奨学金が手渡された。 また本年も北九州市の医療機器メーカーの会長・荒井龍雄氏の篤志により、平成十二年から支給されて

「男女同権」というスローガンの下に、社会的・文化的性差に対する偏見や先入観につながるという理由だ。しかし、近い将来家庭を持ち、我が国を背負う子供達を育てる、大切な役割を担う世代が学ぶ「高校家庭科」の教育現場が、このようなことで良いのだろうか。子育ては、父母同様積極的に取り組むべきかと思ふが、それぞれの役割は自ずから違ってくるのは当たり前の事である。それを、「女性」「母性」「三つ子の魂百まで」という三歳児神話(母性神話)をも否定する教育内容の方が不自然である。 昨今、「歴史教科書」が問題になっているが、直接子育てに関わる家庭科教育についても、我が国の家族制度や衣食住等の伝統文化の長所を失わないように、配慮がなくてはならない。 「社会的権利」としての「男女平等」を制度の中に取り入れたつ、男女の補完的な役割を重視する事が、日本の家庭・社会の安定をもたらすはずである。 我が国の伝統文化を踏まえ、近代社会の長所を補完併存させた家庭科教科書を、一人の父親として「子供の日に」に青空の中を力強く泳ぐ、鯉のぼりを見上げながら強く望む。

筑前大島 沖・中両宮春季大祭・龍宮祭



この大祭は、漁業関係者の多い大島で漁止めとなる旧暦の三月十四日、十五日に行われ、海上安全と大漁満足を祈念された。

沖・中両宮春季大祭

筑前大島の木々も新緑鮮やかな四月二十六日、二十七日の両日宗像沖津宮・中津宮春季大祭が斎行された。

この大祭は、漁業関係者の多い大島で漁止めとなる旧暦の三月十四日、十五日に行われ、海上安全と大漁満足を祈念された。

大祭に先立ち、沖・中両宮奉賛会と同敬神婦人部の奉仕で、御嶽宮と沖津宮遣拝所の清掃、注連縄の張り替え、幟・提灯立て直会準備などの大祭の諸準備が整えられた。

午後四時から掃き清められた境内で地主祭を齎行。同五時から奉仕神職は、沖津宮遣拝所と中津宮の二手に分かれ、宵宮祭を奉仕した。

翌日午前八時半から、宮崎区に鎮座する厳島神社で、春祭りが行われ、佐藤伸次

区長以下地元氏子多数が参列した。

午前九時から、沖津宮遣拝所で、玄界灘北約五十キロの洋上に浮かぶ沖津宮に鎮座する沖津宮へ向かい神饌が供えられ、春季大祭が斎行された。太田宮司の祝詞奏上、浦安舞納の後、参列者一同玉串拝を行い、祭典は終了した。

午前九時半、大島最高峰である御嶽山頂に鎮座の御嶽神社でも春祭りが行われ、宗像農協・滝口勝秀大島支店長を始め総代・農事関係者多数が参列し、本年の五穀豊穣を祈った。

午前十一時中津宮厨庭玄関に奉幣使、十二軍装、古賀理氏子奉幣使、土二軍装の巫女、佐藤千里奉賛会長並役員が列立し本殿へ参進した。

拝殿前には島内外より約百名程の参列者、御神前にては真心からなる献魚や献品が供えられ、修祓の後太田宮司が皇室の弥栄、国家の隆盛、安泰、更に海上安全、漁業繁栄、五穀豊穣を祈る祝詞を奏上、次に村内氏子や代表し、古賀理氏子奉幣使が奉幣詞を奏上、巫女が神楽「浦安舞」を奉納した。

その後宮司、氏子奉幣使が玉串拝礼を行い、続いて佐藤奉賛会長、河野責任役員、安部宗像大社大正長、杉田大島村長始め、各界代表四十名余りが玉串を捧げ、大神の神恩に感謝すると共に今年への豊漁を祈念した。

祭典終了後、感謝状贈呈式。中津宮に国旗ポールを奉納された豊福猪足氏と昨年中に沖・中両宮に度々献魚を捧げられた十九名の方々に、宮司より感謝状と記念品が贈呈された。

その後、照海殿に場所を移し直会が催された。宮司の御礼挨拶、古賀氏子奉幣使の音頭で乾杯し、和やかに神人利業の一刻を過ぎた。

また午後一時半からは、奉納子供相撲大会が境内の土俵で開催され、大島小学校の男女児童が参加、保護者や観戦者から声援を受けながら熱戦が繰り広げられ、島内は終日大いに賑わった。

五月三日には龍宮祭が斎行された。

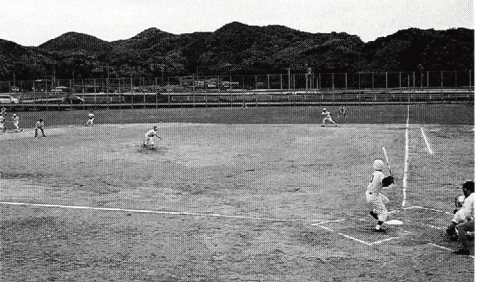
大島漁協など漁業関係者による海上安全・大漁満足を祈念するお祭り、この日は漁止めとなり多くの関係者が参列した。

午前十時、大島漁協の冷蔵庫前に神職、関係者が参集、ポルトと見廻船に分乗して、西側海岸に鎮座する龍宮神社へ海路向かった。

神社には既に大島漁協より奉納の赤い生地に「海上安全・叶大漁」と大きく墨書された幟が立てられ、祭場が準備されていた。

途中小雨が降り出したが玉串奉養に移り齋主、大島漁協榎木安生組合長、杉田大島村長、佐藤奉賛会長を始め関係者が敬虔なる祈りを捧げた。

祭典後、大島漁協一階にて直会が催され、大島の漁業関係者が集う中、今年の豊漁を祈り、和やかに語り合った。



第十四回福岡県中学校選抜親善野球大会、玄海マリノカップ二〇〇二

玄海マリノカップ二〇〇二 優勝は北九州の浅川中学校

この大会は「軟式野球に親しむことにより、健全な心身の発達を培うと共にアマチュアスポーツの正しい普及と、中学校野球の技術の向上及び本大会を通じて交流親睦を深めること」を目的に開催されており、県内より選択されたマナ、実力を兼ね備えた強豪十六チームが参加し、玄海の地で熱戦を繰り広げた。

野球を通しての神道教化に力を入れている当大社も全面協力しており、どのチームも礼儀正しく、元気に声を出していた。

この大会は「軟式野球に親しむことにより、健全な心身の発達を培うと共にアマチュアスポーツの正しい普及と、中学校野球の技術の向上及び本大会を通じて交流親睦を深めること」を目的に開催されており、県内より選択されたマナ、実力を兼ね備えた強豪十六チームが参加し、玄海の地で熱戦を繰り広げた。

野球を通しての神道教化に力を入れている当大社も全面協力しており、どのチームも礼儀正しく、元気に声を出していた。

一方、宮崎区でも龍宮祭が斎行され、岩礁に鎮座する神社で祭典があり、多くの関係者が集った。

大島村西区では「御座」が催され、神人利業の一刻を過ぎた。

島内は生憎の雨模様であったが、終日のどかなお祭り一色の雰囲気染まった。

春季奉納盆栽展

五月一日から六日にかけて第十九回宗像大社春季奉納盆栽展が本殿西側の境内で開催された。

前日の四月三十日には盆栽会々々員、当社職員の手で会場設置作業が行われ、出品盆栽の搬入も行われた。

盆栽展期間中は生種雨模様の日が多かったが、丹精込められた松・真柏・松などの松・雑木類、つじ・さざんざし・ふじなどの花の類が、例年通りの規模で露天展示された。

新緑の松類類・雑木類の中に花もが一層あざやかに増し、しっとりとした落ち着いた雰囲気が感じられる。盆栽展の一助とすることを目的に、宗像大社奉納盆栽会（現社在）を結成。毎年春と秋の二回盆栽展を開催しており、春は昭和五十九年より開催され、今回で十九回目を数えた。



美を遺憾なく表現出来る盆栽の普及と盆栽技術の研鑽に励み、盆栽展の一助とすることを目的に、宗像大社奉納盆栽会（現社在）を結成。毎年春と秋の二回盆栽展を開催しており、春は昭和五十九年より開催され、今回で十九回目を数えた。

大社の神宝④ 国宝「真珠玉」

清らかな青、薄緑、淡い紫を主とし虹色に輝く大粒の玉は、沖ノ島七号遺跡（六・七世紀）出土の真珠玉である。

長さ二・二センチ、幅九・四ミリ、厚さ四ミリの扁平で、だ円形を呈している。ガラス製小玉や玉製削切子玉等の多くの玉類に混じって一個発見された。これは、首飾り等の装身具として奉獻されたものか、若しくは祭祀用具としてお祭りの際に使用されたものと思われる。現在の真珠と比べ、おびつてはいるが、天然物のこの真珠は当時の絶品の一つである。

真珠は古代より日本の特産品であった。中国の史書「魏志」倭人伝に「倭地は、真珠や青玉を産出する。その山からは丹を産出する。その地の木にはくすのき（くすのき）樟（くすのき）とあり、樟（くすのき）とあり、倭国の邪馬台国が真珠の産出国であったことが記されている。

又、真珠の記述は倭人伝の最後にも登場する。女王卑弥呼の宗女志与が王になった。昔方郡から来たいた郡使張政の帰国を送りつ、志与の使者は昔方郡をへて、魏の都洛陽を訪れて様々なるの魏の皇帝へ献上した。その魏の中に「白珠五千孔」つまり真珠

五千個が含まれているのである。倭人伝においてさらに興味深い記述は、真珠の採集部分である。「倭の水人は水中にもぐって魚や蛤を捕まえる」とあり、弥生時代、潜水漁法で真珠採集を行っていたことが解かる。

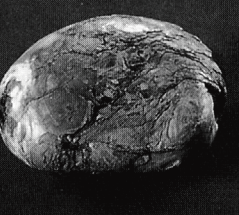
当時、真珠一個を採取することだけでも難儀であったのに、邪馬台国の女王はなぜ五千個もの真珠を買得たのだろうか。

邪馬台国は大量の真珠を献上できる程の海水集団をその傘下に抱えていたと考

日本古代の真珠の遺品をみていくと、古代真珠の位置がより明確になってくる。真珠の用途は様々であり、聖武天皇・光明皇后の遺愛品である正倉院御物の琥珀念珠・冠・禮服・如意・刀子等の装飾としては、あるいは東大寺大仏殿等の鎮壇具、法隆寺の舍利容器内の供養品、東大寺法華堂の本尊不空観音の宝冠の宝珠として用いられている。

その他、「古事記」「日本書紀」や「万葉集」等の文獻にも度々登場する。つまり、真珠は王室・貴族や豪族、大寺院の上層階級の一部しか持た得ないような貴重品であったのである。

沖ノ島に奉獻された真珠もまた同様に、当時の超一級品であり、そして、国内の超一級品を奉獻するといふ沖ノ島の祭祀は国の一大事業であったのである。（写真は沖ノ島の真珠）



真珠玉の古写真

玄海末来塾 沖津宮参拝並びに清掃奉仕

去る四月二十日、玄海末来塾員たちが沖津宮の参拝、清掃奉仕をした。

玄海末来塾は玄海町の二十歳代から四十歳代を中心とした若者が町の将来を多々町作りに対して色々なボランティア活動を行っている団体である。



清掃奉仕は、毎年五月二十七日に実行される沖津宮現地大祭に先立ち、沖ノ島を清掃して参拝者をお迎えしようという主旨で始まり、今年で三年目を迎えた。

当日午前八時、吉武邦彦代表を始めとする会員二十三名が参加して、八重丸宗像護国艦長に乗り込み、鐘崎港を出発した。

宗像菊友会 玄海小に菊の苗を贈呈

五月八日宗像大社菊花会より玄海小学校、山小校長に菊の苗及び肥料等の菊資材を贈呈した。

今年で三回目となるが、早小校長をはじめ、各先生方、地元PTAの方々の熱い想いを受け、今回も実施された。

玄海小学校では全校生徒挙げて菊を育てており、秋には校内菊展、西日本菊花大会にも出品している。

贈呈式には宗像大社菊花会役員及び宗像菊友会各員が出席、全校生徒に数多くの菊の苗、肥料、資材を手渡した。



新人巫女紹介



深田 美幸

この春東海大学福岡短期大学を卒業し、御奉仕しております。深田美幸です。

宗像大社に近い玄海町田島に住んでいます。その為大社は家族揃って参拝することが多く、父は消防団で正月・大祭時には警備をして止月・大祭時には警備をし、弟は主基地方風俗舞保存会々員として、春秋の大祭に御奉仕しています。

私も中学生の頃に浦安舞を御奉仕で舞いました。御縁あり、奉職し二月経つていますが、早く一人前の仕事が出来ると、また皆様に気持ちよく参拝していただけるように頑張りたいと思います。

今年春香椎工業高校を卒業し、巫女として奉仕しております。日下部美奈です。現在は宗像市に住んでいますが、高校入学までは宗像大社の近くの玄海町田島に住んでいました。境内はよく遊んだ思い出の地で、中学二年の時には十二単を着て御前前「浦安舞」を舞いました。

また中学時代にはソフトボール部で、高校時代にはラグビー部のマネージャーとして活躍する子として過ごしてきましたが、今後は女性らしく日々の御奉仕に励んでいきたいと思っております。



永沼 理香

今春香椎高校を卒業し、四月より御奉仕させて頂いております。永沼理香です。

隣町の遠賀郡岡垣町から車で二十分程の距離を通っています。宗像大社への奉職が決まり、すぐにお暇を受けたおかげで、初心者でも安全に通勤をしています。

七五三のお暇を大社で受けましたが、その時の巫女さんの綺麗な姿と優しさにあぐれ、今私が巫女さんの道歩んでいます。小さな頃憧れた巫女さんのように、子供からお年寄りまで真心をもって接していこうと思っております。

今春粕屋高校を卒業し、御奉仕させて頂くことになりました。城野佳里です。宗像郡福岡町の出身です。明るく元気な巫女さんになりたいと思っております。

また、私は剣道をしていました。体力面、精神面そして正座にも自信があります。今後資本である体調の管理をきちんとし、早く一人前の巫女さんになれるよう頑張りたいです。よく聞かれますが、私の名前には城野佳里で、リカではなかりです。これから宜しくお願いします。

決断力 その時昭和の経営者たちは

出光興産株式会社 出光佐三店主

「理念の確立まで」③ 瀧口凡夫著

母胎となった宗像の風土

佐三は生家の倒産で独立を決意し、尊敬する友人の日田重太郎に資金を与えられて出光商会(出光興産の前身)を創業するのだが、これらの出来事から得た教訓は深く心に刻まれて、人間尊重、独立自派、大家族主義などの理念となって結実していく。

もうひとつ、事業経営の方針として佐三の心をとらえたのが、神戸高商で学んだ消費高本位、大地域小売業の実践であった。ここでは佐三がなぜ、このような主義、方針を心にたどり、たどりつたか、筋に実行していくようにしている。

佐三の人間形成の母胎となった環境、風土を確かめてみたい。佐三が生まれ育った宗像地方は、九州北部の福岡、北九州两市の中間にあり、玄界灘に面している。

家がある赤間には江戸時代は唐津街道の宿場町で、幕末の動乱期には都落ちの三条美ら五脚が一ヶ月近く滞在している。交通の要衝だから、生家の監商も繁盛したのである。

現在、宗像市のほか三町一村があり、住宅地として人口が急増し合計十五万人近い。うち宗像市が約八万二千人である。



佐三の宗像大社に対する尊崇の念は人一倍強かった。神が思っているように、明治という時代背景の役割も極めて大きい。佐三自身「青年よ、明治精神に返れ」と題する講演で、明治時代を「建国国策の日本精神が世界的に爆発した時代」と評している。

神三柱を祭神とし「豊稔勢」とも呼ばれる。皇霊の祭神、伊勢神宮にたいし、国民のあり方を示す神だといわれている。佐三も、この精神が現在の宗像市、郡全体が神領となった。住民にとっては大社が氏神であり、大社の氏子であることに強い誇りを持っている。一種の選民思想である。この地方には「むなカタマゴ、むなカタ教員」ということが、いまも残っている。

第四九一回 宗像大社歌会詠草

大野 展 男 選 毎月 25 日 メ 切

福間 香月 照子 雑草とあふれる若葉に埋もれて消えゆくそなたの私を呼ぶ一首である。

福間 中村 勇 山開き団地となりし古里は禁猟区の札公園に立つ

吉留 高山 信子 お姉さんわたし生きてるよ急進の妹夢に笑顔に話す

大島 越智 治子 海なりのとどろきつづく鳥ここに春十五夜の月はかがやく

鐘崎 安永 久子 手提灯の電池四本入替しとくとくに吾は再出発する

曲 天野 玲子 今日をもて閉店するというスーパーを立ち去り難くまなく巡る

津屋崎 宗像 温子 わが庭は藍の季節を迎へたくりあぢさゝの藍を惜しみにく

田野 森 甲子 いつ来ても語る人多き南蔵院散りし参道のほる

神 湊 中山 千鶴 雨音に目覚めし夜半にふとよきる心許なさとへよう

光岡 森田信子 庭先の畑の中に植えしお茶八十八夜の茶つみ近づく

田島 森 つるの美術館に展示されたる舞妓の絵百美しく艶に浮き立つ

名古屋 小田 喜一 リハビリの温泉プールに知り合ひし翁の顔を見ぬ日の

名古屋 小田 留子 渚には和毛のあまた浮びあて水鳥翔ちし音の辺に佇つ

日守 大和美田紀 咲き揃切り木牡丹の近松門左衛門の墓あり

池田 小田 イセ 六人の吾子の学びし学校の廢校あとに思ひててつまず

武丸 中村さつき 早く咲く四月、百が観桜会冷えより返して少し散り敷く

自由ヶ丘 細川 絹子 裏庭の垣根の赤芽色づきて花咲く如く庭を色どる

光岡 古森テル子 青空に飛行機のかげ見えかくれ銀鏡きらめき雲の間をゆく
光岡 河村 久光 白や黄や黒人々いろいろと鳥にも色々おるを楽しむ
城南ヶ丘 中間日出子 根を浮かし三十度ぐらいに傾きてなお強かに生きる杉の木
日の里 佐藤 純一 社にて奉納歌を待て吾待つ若き日の母眼裏に顔つ

宗像大社歌会
俳句作品集 四六六

東郷 田中 憲家
尾をあげて花を掃く鯉心字池

光岡 井上 嘉治
田舎道妻面着き下がり藤

自由ヶ丘 細川 絹子
葉かけよりつつし顔出す少しすつ

日の里 花田いつ枝
街路樹の一直線に芽吹きけり

東郷 吉武 湧泉
色褪せし雛を飾る姉妹かな

東郷 吉田 杏子
黄砂舞ふ四塚連山模範として

東郷 三浦美千代
沈みゆく入陽に光る彼岸湖

東郷 田中 雨葉
初蝶や重ねて少女の手のぬくし

東郷 木原 房子
藪椿住む人あらず屋敷神

福岡 森 清
春出水茫然と立つ小鶯かな



(続)

浜の寄物

166

いししいただし

ゼロ戦と高射砲「つわものどもの夢の跡」を後にして、次は石貨銀行を見に行こう。

日里の二ツパヤシの群落。玄界での二ツパヤシ果実の漂着はココヤシに次いで多く、現在まで四〇〇個ほどある。歩きはじめた頃は歩く度に二、三個は拾ったが、現在ではあまり漂着を見ない。一九七五年三月十八日に、福岡市東区海の中道に四六個、同年十一月八日に海の中道で四三三個の大量漂着があった。

二ツパヤシは東南アジアを中心に、インド洋沿岸、



石貨はフエとよばれる。約五〇センチほどのものから大きなものは約二メートルのものが多い。「最大は四メートルのもの」という。中央に凹形の穴があいているが、石貨を運ぶのに使った。

若い果実は割ると中がゼリー状になって食用にされたが、今は食べる人もいないという。葉は屋根葺や壁に使われ、ココヤシの葉より長持ちするという。そのためヤネフキヤシと呼ばれる。幹をつくらず地面から葉が出るので、日本兵はネツパヤシ(根葉)と呼んでいた。いろいろな呼び名の二ツパヤシの群落を過ぎると間もなく、石貨銀行に着いた。道路の横の広場があり、中央に敷石をした両側に、大小の石貨が並んでいる。

石貨の材質は結晶炭酸石灰石といわれるが、白色系と、灰黒色をしたものがある。原石はヤップ島には多く、ヤップ島から南西、四〇〇キロメートル離れたパラオ諸島にある。パラオの珊瑚礁周辺のマルカル地帯に、石貨を運ぶのに使った。

石貨の材質は結晶炭酸石灰石といわれるが、白色系と、灰黒色をしたものがある。原石はヤップ島には多く、ヤップ島から南西、四〇〇キロメートル離れたパラオ諸島にある。パラオの珊瑚礁周辺のマルカル地帯に、石貨を運ぶのに使った。

話題の新車紹介

トヨタ「イスト」

驚異的な販売でコンパクトクラスを快走中のフィット(赤ダク)に対抗すべく、五月十四日ついにトヨタが動きました。

ウィットワランカーゴの隙間を埋めるの車は「イスト」。また「Sグレード」は、パワーゆとりある「五リットルエンジン」を搭載。人気のディスプレイヘッドランプや、リヤスポイラーなど多彩な専用装備によって、ひとさわポテトに仕上がっています。

ドアの閉り音も「セルシオ」のように重厚で、シートやアタッチメントも上質。立体駐車場に入る高さで、しかも大人四人がくつろげる居住空間を確保し、椅子に座るような感覚で、ごく自然に乗り降りできます。

「全方位ナビナビ」ナビ構造により、大きなクルマと衝突した時にも、十分な室内空間が確保されるというように高度な安全性を追求しています。

その奥には、覆屋付きで雨鳥基壇の亀腹上に神明造り、銅板葺の本殿が西北面に鎮座している。御縁起に百八神の一つとして「和加明神」と、同高宮下符社のうちに「和歌明神」と見え、正平年中行事にも七十五社の一つとして、上高宮下符社のうちに「和歌明神」、更に同高宮下符社神事の條には祭事の記述が見られる。



特に十五インチタイヤと、それを包むホイールアーチのデザインには、SUVのような迫力があり、リヤコンビネーションランプは、斬新なリフレク

メタル調に、オーディオやエアコンまでトータルにコーディネートされたインテリア。マルチポックスは、クルマのインテリアに間接照明を取り入れたトヨタ初の装備で、ドアを開けた時にやさしい光でお迎えします。

「イスト」は「i」シリーズの専用チューニングを施し「i」シリーズで、キビキビ気持のいい走り、しかも高級感のある乗り心地を実現します。タイヤも、コンパクトクラスではまだまだ数少ない大径の「一五五インチ」を全車に標準装備

「宗像大明神」は、宗像郡大井村の條には、「和歌大明神」若か谷と云所に在。○中略 既に宗像七十五社の内に入られたは」とある。



「イスト」は「i」シリーズの専用チューニングを施し「i」シリーズで、キビキビ気持のいい走り、しかも高級感のある乗り心地を実現します。タイヤも、コンパクトクラスではまだまだ数少ない大径の「一五五インチ」を全車に標準装備

「イスト」は「i」シリーズの専用チューニングを施し「i」シリーズで、キビキビ気持のいい走り、しかも高級感のある乗り心地を実現します。タイヤも、コンパクトクラスではまだまだ数少ない大径の「一五五インチ」を全車に標準装備

「イスト」は「i」シリーズの専用チューニングを施し「i」シリーズで、キビキビ気持のいい走り、しかも高級感のある乗り心地を実現します。タイヤも、コンパクトクラスではまだまだ数少ない大径の「一五五インチ」を全車に標準装備

「イスト」は「i」シリーズの専用チューニングを施し「i」シリーズで、キビキビ気持のいい走り、しかも高級感のある乗り心地を実現します。タイヤも、コンパクトクラスではまだまだ数少ない大径の「一五五インチ」を全車に標準装備



「イスト」は「i」シリーズの専用チューニングを施し「i」シリーズで、キビキビ気持のいい走り、しかも高級感のある乗り心地を実現します。タイヤも、コンパクトクラスではまだまだ数少ない大径の「一五五インチ」を全車に標準装備

「イスト」は「i」シリーズの専用チューニングを施し「i」シリーズで、キビキビ気持のいい走り、しかも高級感のある乗り心地を実現します。タイヤも、コンパクトクラスではまだまだ数少ない大径の「一五五インチ」を全車に標準装備

「イスト」は「i」シリーズの専用チューニングを施し「i」シリーズで、キビキビ気持のいい走り、しかも高級感のある乗り心地を実現します。タイヤも、コンパクトクラスではまだまだ数少ない大径の「一五五インチ」を全車に標準装備

「イスト」は「i」シリーズの専用チューニングを施し「i」シリーズで、キビキビ気持のいい走り、しかも高級感のある乗り心地を実現します。タイヤも、コンパクトクラスではまだまだ数少ない大径の「一五五インチ」を全車に標準装備

宗像郡末社めぐり

境内社は、素戔嗚尊が奉祀されている須賀神社(由緒不詳)と、國常立尊・高靈神・瀬織津姫神・龍神・水速之神・菅原宗政神との一宮とされ、前出の高靈神以下四神、宇山ノ口ヨリ移転ノ上、合祀されている國玉神社、貴布禰神社、神社、大井神社、天満神社、福徳神社があり、何れも御造営時に整備されている。



宗像大明神(和歌大明神)の御造営時に整備されている。

「宗像郡末社めぐり」の御造営時に整備されている。境内には、神社背後の社の上方には、神社から見ると少々遠く和歌を覚えるが、西北の宗像大明神に向いている本殿からは玄海の田島山嶺と長閑な田園風景が臨まれ、耳を清ましと、すぐ近くを流れる大井川の清らかなせせらぎが聞こえてくる。



宗像大明神(和歌大明神)の御造営時に整備されている。